

### 健康診査の受診率向上について

四 竈 英 夫



〔質問〕市民の健康と安全を守るため、各種検診・健康診査を実施しているが、国民の3分の1が「健康無関心層」といわれる中、本市の受診率を伺う。

〔答弁〕健康推進課長 令和2年度の受診対象者1万243名のうち受診件数は3千569件、受診率は34.8%である。

〔質問〕受診率の向上を図るための対策を伺う。  
〔答弁〕健康推進課長 未受診者に対する勧奨通知や40歳・45歳の方に人間ドックの個別通知を行い、受診率の向上を図っている。

◎介護予防センターの有効活用について

〔質問〕介護予防センタ

いわれている。

本市の現状を伺う。

〔答弁〕「教育長」現在、ヤングケアラーに関する法令上の定義はないが、これまでに該当するような事例や学校からの報告はない。

〔質問〕個人の家庭内の事情には立ち入りくいとわすが、子どもたちの健全な成長のため、どのような対応が必要と思われるか伺う。

〔答弁〕「教育長」家庭環境はさまざまで、プライバシーの問題には十分配慮が必要である。

一方で、子どもの学びを保障することは大変重要なことだと認識している。

支援が必要な子どもがいても、本人も周囲の大人も気づかない状況にもある。

小さなサインを見逃さず、相談窓口や福祉担当部署につなぐよう努めていきたい。

〔その他の質問〕

◎新型コロナウイルス感染症防止対策について

### 学力向上マネジメント支援事業について

佐 藤 秀 行



〔質問〕教育改革3年目における市長の思いを伺う。

〔答弁〕「市長」次世代を担う子どもたちが一人一人の個性や能力を伸ばし、将来自らの夢や志を叶える力を身に付けていけるよう、教育改革の歩みを止めることなく、教育委員会と共に力強く推進していきたい。

◎文科省特例校、教育課程特例校制度・通称「英語特区」について

〔質問〕本市の課題の一つに国語の読解力の低下がある。日本語教育の充実、国語の能力というものが学力向上、英語教育推進のためにも欠かすことができない

と考える。

このことに対する考えと取り組みを伺う。

〔答弁〕「教育長」国語の読解力は、全ての教科の土台となる大変重要な学力である。

日本語教育の充実という観点からも、今年度より暗唱読本を活用した「美しい日本語」に慣れ親しむ活動の充実を図っていく。

また、インターネットなどでのデジタルデータから必要な情報を探し出す力「デジタル読解力」の育成にも取り組んでいく。

〔質問〕小学4年生から中学3年生まで、年間1千15時間の授業時数がある。週5日間のうち、6時間授業が4日、5時間授業が1日であり、児童・生徒だけでなく教員にとっても多忙

を極める一週間と考えるが、教育委員会としての考えを伺う。

〔答弁〕「教育長」今年度、長期休業の一部を授業日に振り替えることを考えている。

通常日の学校教育活動にゆとりを持たせることで、児童・生徒と向き合う時間を確保し、学級づくりや放課後の生徒活動の充実、教員の研修や校務の時間の確保を図っていく。

◎オリンピック・パラリンピック教育推進事業について

〔質問〕ベラルーシ共和国との交流について進捗状況を伺う。

〔答弁〕「市長」都市間交流については、新型コロナウイルス感染症拡大により具体的な動きがでない状況にある。

引き続きベラルーシ大使館と調整を行い、幅広い分野での交流を検討していきたいと考えている。